

大日本コンサル

# AIで補修・補強支援

## 防災関連に適用目指す

大日本コンサルタントは、2018年6月期の経営戦略を明らかにした。「攻め」の戦略として、コア事業分野の基盤強化、集中強化事業分野の促進、新たな事業分野への挑戦の3点を掲げた。

コア事業分野の基盤強化は、AI（人工知能）を活用して維持管理を効率化するツールを開発した。AIによる補修・補強設計支援システム

を構築し、詳細調査・設計を省力化する。将来的には適用範囲を防災関連事業に拡大する予定だ。来年度からの実用化を目指す。

AI活用が期待されるフィールドとして、橋梁予備設計、損傷判定、基礎の推定、維持管理マネジメント、耐震診断、道路路線選定、斜面崩壊診断を挙げている。

新たな事業分野の挑戦は、

再生可能エネルギー活用事業

を展開し、水素による野外フェスへの電力供給、電気・熱水を供給する新製品の開発のほか、木質バイオマスによる森林保全に役立つ発電事業に積極的に取り組む。

一方、「守り」の戦略として、不採算組織の自立、生産

力の強化、労働環境の改善、組織力強化の4点を挙げ、特に働き方改革を推し進めていく。

このほか、インフラ技術研究所に、7月1日付で「地域マネジメント事業室」と「空中物理探査技術室」を新設した。

地域マネジメント事業室は、まちづくりについての業務を担い、空中物理探査技術室は、ドローンを使った探査の技術を組み入れていく。ドローンを使った探査技術は、今後2年をめどに実用化を目指していく方針だ。

・路面下

## 劣化を一元把握